

再生 南栗橋

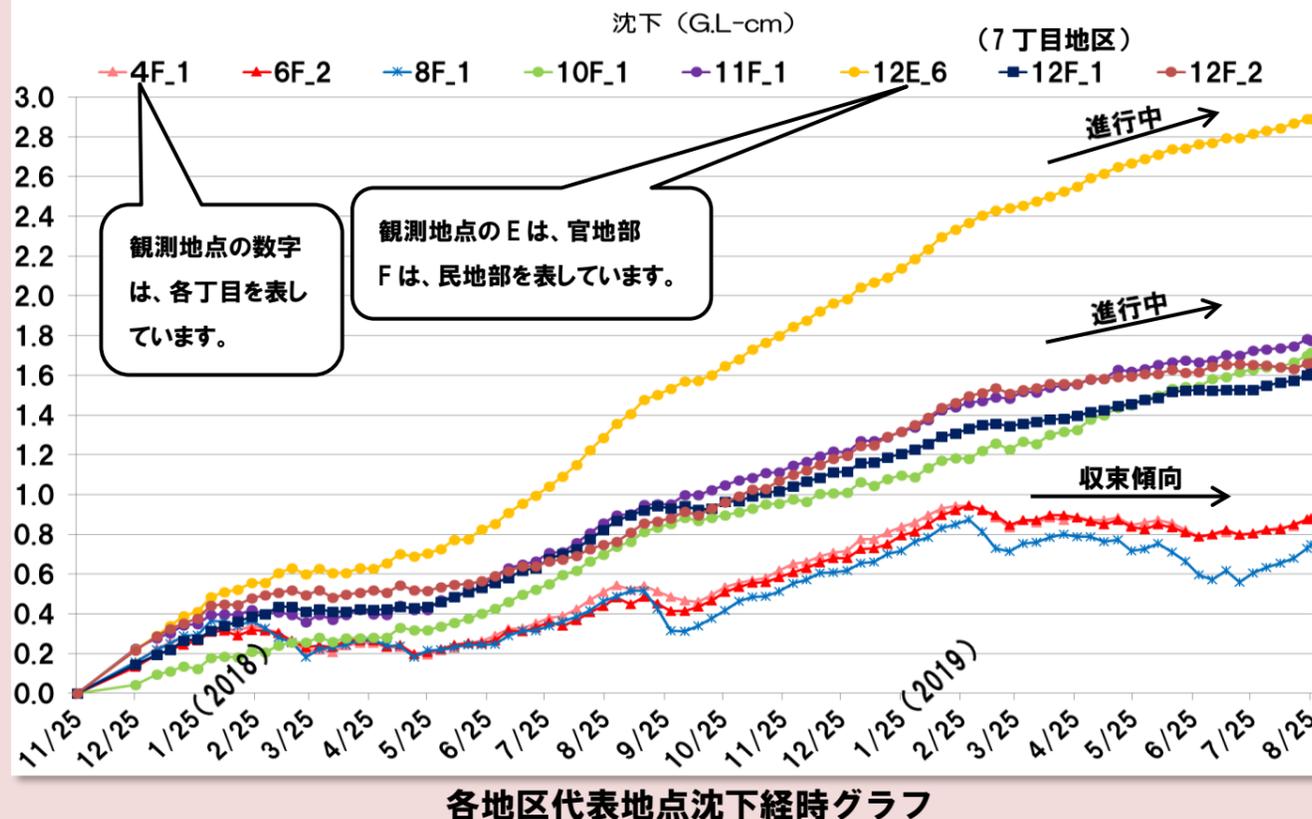
～災害に強いまちを目指して～

☆地下水位低下等の状況について

国のガイダンスに従い、沈下による影響を緩和させるため、所定の水位まで3段階に分けて9カ月程度かけて低下させ、その後1年間、地下水位、沈下状況を観測してまいりました。

これまでの観測結果および今後の予測解析について、第19回久喜市液状化対策検討委員会（2019年10月11日開催）に諮ったところ、下記の確認がなされました。

- ・地下水位は、計画通り低下している。
- ・沈下量も、想定範囲内である。
- ・地区外への影響は地下水位、沈下とも生じていない。
- ・4、6、8丁目は沈下が収束傾向にあり、沈下量も少ない。
- ・7、10、11、12丁目の沈下は、収束傾向も見られるが、今後も沈下の進行が予測されることから、1年後（2020.8）までのデータをもとに再度収束確認を行う。



◆現在の観測状況について◆

【地下水位の状況】

地下水位低下から21カ月（段階低下9か月+12か月）が経過した2019年8月25日時点において、各地区とも道路部は目標水位に達しており、民地部も液状化に対して所定の強度が確保できる水位まで低下しております。

【地盤沈下の状況】

2019年8月25日時点における地区の沈下量は、最大で29mm、傾斜角は、最大0.77/1000程度で、限界値として設定している傾斜角3/1000以下となっております。（計測にあたっては、限界値に至る前に対策を可能とするために、警戒管理値[沈下量40mm、傾斜角2/1000]を別途設定し、観測値が収まっているか確認しております）。

☆今後の進め方について

委員会での確認結果を踏まえ、各地区について下記の対応を行います。

【4丁目、6丁目、8丁目、地区外】

- ・計測：民地借地箇所は機器撤去、官地部は継続観測（観測手法、頻度の詳細は、裏面スケジュール表参照）
- ・家屋事後調査：家屋事後調査の実施（実施日は各家屋所有者と個別協議）
- ・道路：舗装本復旧工事の実施（復旧工事後の不具合は舗装の維持管理にて対応）

【7丁目、10丁目、11丁目、12丁目】

- ・計測：民地借地の継続が困難な箇所は機器撤去、それ以外の箇所は継続観測（観測手法、頻度の詳細は、裏面スケジュール表参照）
- ・家屋事後調査：2020年8月以降に家屋事後調査を実施（2020年8月以前に調査を希望する家屋所有者については、個別に協議）
- ・道路：舗装本復旧工事の実施（復旧工事後の不具合は舗装の維持管理にて対応）

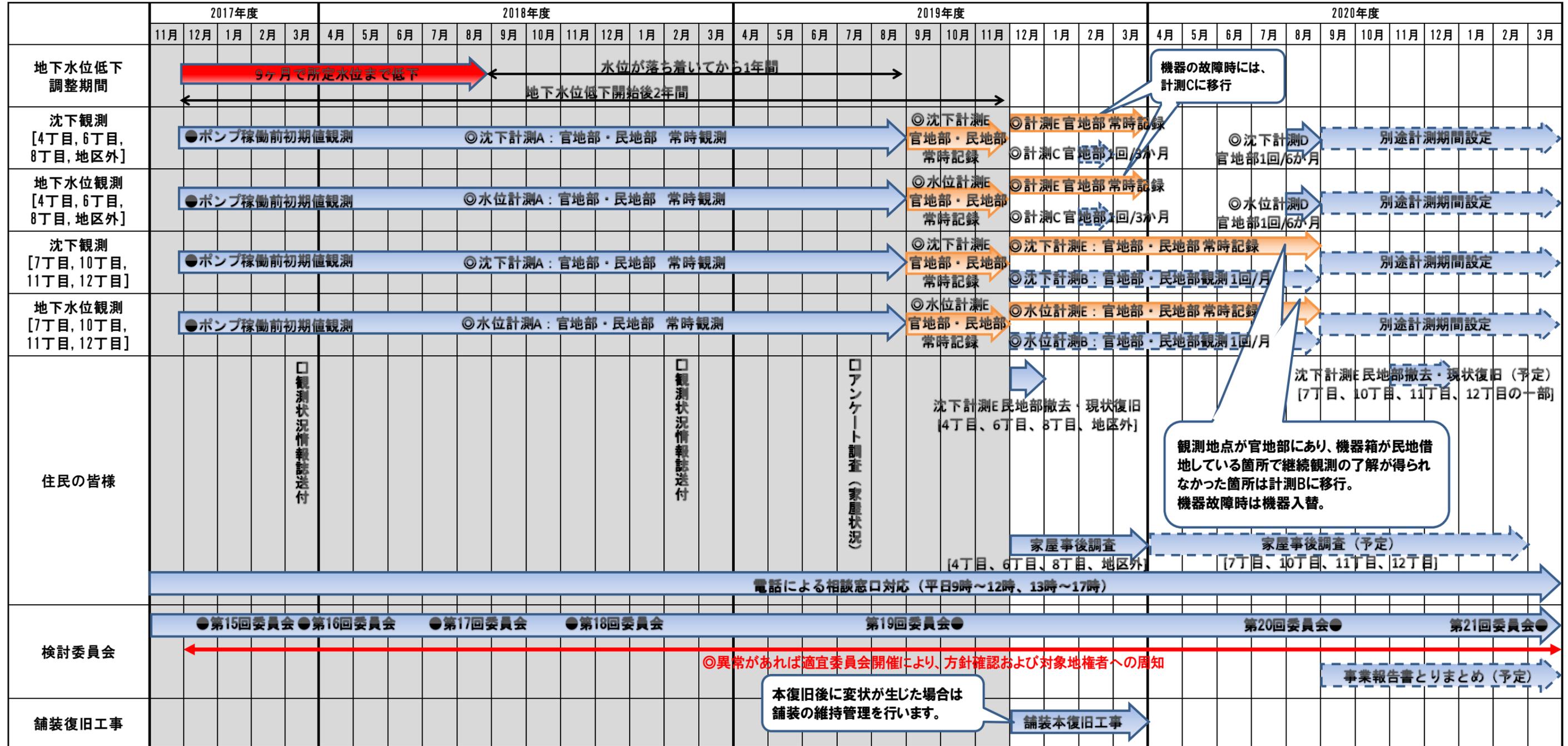
◆観測データは公表しています📄

常時観測している水位・沈下のデータについては、2週間に一度の頻度で各週金曜日の正午のデータを久喜市ホームページにて公開しています。

下記アドレスにてご覧いただけます。

http://www.city.kuki.lg.jp/kurashi/bosai_bohan/bosai/daishinsai/minamikurihashi/tikasuii.html

☆今後の進め方について



- ・計測 A (常時測定 沈下: 自動観測、水位: 自動観測 データは通信管理)
- ・計測 B (1回測定/1か月 沈下: 地表面水準測量、水位: ロープ式水位計)
- ・計測 C (1回測定/3か月 沈下: 地表面水準測量、水位: ロープ式水位計)
- ・計測 D (1回測定/6か月 沈下: 地表面水準測量、水位: ロープ式水位計)
- ・計測 E (常時測定 沈下: 自動観測、水位: 自動観測 データは現地で回収 頻度は計測 B, C, D に合わせる)

【問い合わせ先】

◇久喜市 都市整備課 都市施設整備係
0480-22-1111 (内線 4671・4672・4673)

◇相談窓口 (電話)
0120-914-772 (通話料無料)
平日 9:00~12:00、13:00~17:00